



プレスリリース

令和6年(2024年)4月22日午後2時解禁

(4月23日付朝刊以降)

日本科学技術ジャーナリスト会議

## 科学ジャーナリスト賞2024の贈呈作品決まる

日本科学技術ジャーナリスト会議(JASTJ、室山哲也会長)は、科学技術に関する優れた報道や啓発活動などを顕彰する「科学ジャーナリスト賞2024」の受賞作品を決定した。

NHKスペシャル「映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前後編」を「科学ジャーナリスト賞大賞」に決定した。大賞は2022年以来、2年ぶりとなる。

「科学ジャーナリスト賞優秀賞」には、下野新聞の連載「アカガネのこえ 足尾銅山閉山50年」、書籍「1100日間の葛藤 新型コロナ・パンデミック、専門家たちの記録」(尾身茂著、日経BP)、Yahoo!ニュースオリジナル特集「経口中絶薬に関する3回連載」(古川雅子著)の3作品を選んだ。

新聞6、書籍30、映像20、博物館(展示)1、ウェブ5の合計62作品の応募があり、この中からJASTJ会員による一次選考で新聞3作品、書籍3作品、映像3作品、ウェブ1作品、博物館(展示)1作品(添付資料参照)を選び、4月13日に開いた最終選考委員会で決定した。応募総数は23年の58作品に比べ増えた。

賞の贈呈式は6月8日に東京・内幸町の日本プレスセンタービルで開催する予定である。

### 【科学ジャーナリスト賞大賞】

- ・NHKスペシャル関東大震災取材班(代表:木村春奈殿)

#### NHKスペシャル「映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前後編」

モノクロ画像のカラー化によって震災発災からの3日間の状況を生々しく再現した。カラー化によって、震災が今を生きる私たちにとって決して他人事ではないことを示し、防災を考えるきっかけを与えた。被服廠跡の火災旋風など関東大震災に関してこれまでもドキュメンタリー作品がいくつかあるが、時間を追って鳥瞰図的に丁寧に編集された構成によって、何が起き市民がどう行動したかをわかりやすく伝えることに成功している。選考委員の多くが「大賞」に推した。

### 日本科学技術ジャーナリスト会議

Japanese Association of Science & Technology Journalists

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル8階 848

HP: <http://www.jastj.jp> MAIL: [hello@jastj.jp](mailto:hello@jastj.jp)



**【科学ジャーナリスト賞優秀賞】3件（順不同）**

- ・ 下野新聞 「アカガネのこえ」取材班（代表：島野剛殿）

**連載記事「アカガネのこえ 足尾銅山閉山 50年」**

閉山から50年。煙害で荒れた山には緑が戻ったが、かつての賑わいはかえらず廃水処理は今も続く。足尾のありようは原発事故後の福島にも通底し、高度経済成長の峠をこえてきた日本の「縮図」とも言える。足尾鉍毒事件を風化させまいとする地方紙記者による「科学ジャーナリズム」の粋をこえた「ジャーナリズムとして質の高い連載」であると評価した。

- ・ 公益財団法人結核予防会理事長

（政府・新型コロナウイルス感染症対策分科会元会長） 尾身茂殿

**書籍「1100日間の葛藤 新型コロナ・パンデミック、専門家たちの記録」**

（日経BP）

新型コロナ対応をめぐって専門家集団が下した判断と、判断をめぐる政府・官僚機構との軋轢を記している。あくまで著者の視点からの記録であり、この作品をもって新型コロナパンデミックの全体像を捉えたとは言えないが、著者が専門家として自らが関わった出来事や判断をつづった詳細なメモが後世への貴重な「記録」であるのは間違いない。ジャーナリズムにも通ずる「記録」への著者のこだわりを評価した。

- ・ ジャーナリスト 古川雅子殿

**Yahoo!ニュースオリジナル特集「経口中絶薬に関する3回連載」**

2023年4月に経口中絶薬が承認された。日本国内では胎児を物理的に搔爬したり吸引したりする中絶法しか認められていなかった。経口中絶薬の承認が諸外国に比べて大きく遅れた背景を丹念な取材で浮き彫りにしたドキュメンタリー作品である。男性中心の医学界で見過ごされがちだった女性の性と生殖に関する権利や健康に対する高い問題意識に裏打ちされ、読む者に強いインパクトを与える。多くの人に読んでもらいたいと考え、優秀賞に選定した。

**日本科学技術ジャーナリスト会議**

Japanese Association of Science & Technology Journalists

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1 日本プレスセンタービル 8階 848

HP : <http://www.jastj.jp> MAIL : [hello@jastj.jp](mailto:hello@jastj.jp)

## 科学ジャーナリスト賞2024 一次選考通過作品

新聞3、書籍3、映像3、ウェブ1、博物館展示1 合計11

種類	作品名	代表者名	出版社名など
新聞	アカガネのこえ 足尾銅山閉山50年	アカガネのこえ取材班(代表:島野剛)	下野新聞
新聞	老化と寿命の謎を探る	飯島雄一	信濃毎日新聞
新聞	研究者を『使い捨て』にする国	科学みらい部取材班	朝日新聞
書籍	クジラの歌を聴け 動物が生命をつなぐ驚異の仕組み	田島木綿子	山と溪谷社
書籍	3.11 大津波の対策を邪魔した男たち	島崎邦彦	青志社
書籍	1100日間の葛藤 新型コロナ・パンデミック 専門家たちの記録	尾身茂	日経BP社
映像	映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間	NHKスペシャル関東大震災取材班(代表:木村春奈)	NHK
映像	フロンティア 人間の知能は作れるか AI究極の知能への挑戦	NHKフロンティア取材班	NHK
映像	豊穰の海 ゴミ浜とゴミバカ	荻山雄一	南海放送
ウェブ	経口中絶薬に関する3回連載	古川雅子	Yahoo!ニュース
博物館	ならまち糞虫館	館長:中村圭一	

注) 一次選考結果はJASTJホームページで3月13日に公表済み。代表者名等は一次選考段階での記載と異なる場合がある。